



学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

令和5年1月23日  
横浜市立三ツ境小学校  
学校長 遠山 松雄



# 三ツ境小だより 2月号

## 学校運営協議会について

校長 遠山 松雄

新年を迎え、気持ちも新たにスタートをして2週間余りが経ちました。20日の大寒が過ぎ、今年は例年以上に寒さが厳しいとの報道があります。日々の気象情報が気になるところです。こうした寒い中でも子ども達は中休みや昼休みに、元気に校庭を走り回っています。

この年末年始、卯年にちなんで、うさぎにゆかりの場所が紹介されていました。その中で印象に残ったのは、京都の岡崎神社です。これまでに数度訪れたことがある場所で、狛犬ならぬ、狛うさぎやうさぎのおみくじで有名なところ。今年の年賀状に、以前撮った岡崎神社の写真を印刷しました。今年こそ久し振りに訪れてみたいと思いました。神奈川県内にも、いくつかうさぎにゆかりの場所があるので、ぜひ年内に訪れてみたいと思います。

紹介が遅くなりましたが、昨年10月8日に原中学校、原小学校と三ツ境小学校の三校合同で学校運営協議会を立ち上げ、10月8日に1回目の運営協議会を原中学校で行いました。学校運営協議会とは、保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することを通じて、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めるとともに、よりよい教育の実現を目的に設置する合議制の機関になります。複雑化多様化する子ども達を取り巻く環境の改善や学校が抱える課題の解決、子ども達の豊かな成長のためにどのようにすればよいのか話し合い、学校と地域が一体となって連携・協働して子ども達を育てていくことをめざしていく組織です。委員は、以下の通りです。

「地域住民の代表」三ツ境連合自治会長、阿久和北部連合自治会長、阿久和南部連合自治会長

「保護者代表」三校のPTA会長

「学校運営に資する活動を行う者」三校の学校・地域コーディネーター

「学識経験者」地域幼稚園長、元小学校長

「設置校の学校長」三校の校長

1回目の協議会では、三校の学校運営の方向性について、小中一貫教育推進ブロックの目標や三校共通の課題について各校校長が説明し、委員より貴重な意見をいただきました。2月28日に2回目の協議会を本校で行います。年度末を迎え、今年度の振り返りや次年度に向けての話し合いを行う予定です。今後、三校の地域学校協働本部とも連動し、より具体的な活動を行いながら、学校と地域が一体となって三校学区の子ども達を育てる組織へと発展させてまいりたいと考えております。保護者や地域の皆様には、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本校の新型コロナウイルス感染症対策にご理解、ご協力いただきありがとうございます。インフルエンザと合わせての流行が心配されています。すでに11月18日付で「新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えて」を配付しました。(本校ホームページでも確認できます。)これまで同様、感染症対策へのご協力をお願いいたします。

また、横浜市の新型コロナウイルス感染症対策の一環として、全市立学校に二酸化炭素濃度測定器(CO<sub>2</sub>モニター)が設置されました。この取組の概要については、別途、保護者の皆様にお知らせしました。本校も各クラスにCO<sub>2</sub>モニターを設置して換気に取り組んでいます。



## 専任 吉田より

6年生は、卒業式まで残り38日。在校生は、修了式まで残り42日となりました。今のクラスの仲間と過ごす時間も、残りわずかとなってきました。4月に新しい学年に進級することは、子どもたちにとって相当な緊張があることと思います。大人にとっても新しい環境に慣れるまでに一定の期間が必要であることを考えると、子どもたちは大人の想像以上に強い緊張を感じる場合もあるのではないのでしょうか。

新しいクラス、新しい人間関係、新しい学習など、環境が変わると、たくさんのことを考えるようになります。新たな課題にぶつかったときに、それを乗り越えていくことができる力を身に付けていくためには、子どもたちや周りの大人は何をすればよいのでしょうか。私は、日々充実した生活を送ることが、一つの視点となるのではないかと考えます。学校では、今のクラスで過ごす時間を充実させることで、「次のクラスでも頑張ろう。」と思えるかもしれません。安心して自分の思いを話せる仲間ができれば、苦しいときにもその課題に立ち向かうことができるかもしれません。困ったときに相談できる大人が近くにいれば、多少問題が起こっても、勇気を出して解決の方向に一步を踏み出せるかもしれません。

子どもたちは、人とのかかわりを通して、日々成長しています。学校では、定期的にお子さんとの面談を設定するなど、一人ひとりの理解を深め、適切な支援・指導を行うことができるよう工夫しています。子どもたち一人ひとりの日々の生活が充実したものとなりますよう、引き続き保護者や地域のみなさまと協力、連携していきたいと思えます。今年度も残りわずかとなりましたが、よろしくお願いたします。